

ワイナーV LEDライト



【警告】

- ・本製品の標準品以外の組み合わせで使用すると火災、感電、故障の原因となる。
- ・本製品を不安定な場所や傾斜した場所に置くと性能が発揮されないばかりか故障、横転、怪我の原因となる。
- ・本製品を落下させたり、強い衝撃を与えると故障の原因となる。
- ・本製品を布などで覆ったり、包んだりすると火災、故障の原因となる。
- ・点灯時または消灯直後にライト本体に触れると火傷の原因となる。
- ・目に直接照射しないこと。傷害の原因となる。
- ・ケーブル類の上に物を乗せるとケーブル類が損傷し、感電、故障の原因となる。
- ・損傷したケーブルを使用すると感電、火災の原因となる。
- ・本製品を電子レンジなどの加熱調理器具や高圧容器に入れると故障の原因となる。
- ・本製品を湿気の多い場所や水のかかる場所で使用すると感電の原因となる。
- ・本製品に滅菌処理を行うと変形、故障の原因となる。
- ・本製品は精密医療機器であり、知識及び経験のない者が分解しないこと。
- ・本製品を改造しないこと。

【禁忌・禁止】

- ・引火、爆発の原因となるため、可燃性ガスや引火性ガス、粉塵の近くで使用しないこと。
- ・故障や感電の原因となるため、端子間をショートさせたり、指などで触れないこと。
- ・感電の原因となるため、濡れた手で本製品に触れないこと。
- ・故障の原因となるため、いかなる液体にも浸さないこと。
- ・故障・損傷の際には使用しないこと。
- ・35℃を超える環境下で充電しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観図・構成



基本構成
(ライト本体部、バッテリーパック)

本製品の基本構成はLEDを光源とするライト本体部と電源であるバッテリーパックとからなる。(なおバッテリーパックとACアダプタをつなぐことで直接コンセントから電源を供給することも可能である。充交両用。)

構成

	各部の名称	各部の機能
①	ライト本体部	LEDとレンズを内蔵する光源部分である。フレーム等のヒンジに固定する。照野径が80mmの80型と100mmの100型がある。
②	バッテリーパック	ニッケル水素単3形充電電池を4本内蔵し、ライト部へ電源を供給する。ACアダプタと接続することで内蔵電池への充電が可能である。
③	ベルトフック	バッテリーパックの背面にネジ止めする。使用者のベルト等に掛けて使用する。
④	リモートスイッチ	バッテリーパックに接続し照明の入り切りを遠隔で操作する。
⑤	電源コード	コンセントとACアダプタ間を接続するコード。
⑥	ACアダプタ	コンセントからのAC電源をDCに変換する。
⑦	DCケーブル	ACアダプタからバッテリーパックへの延長ケーブル。
⑧	保護キャップ	ライト本体部のレンズへの飛沫等付着防止用キャップ。

2. 電気的定格

(1) 電源

専用ACアダプタ (入力: AC100-240V、50/60Hz、20VA)
(出力: ライト点灯時 DC3V、2VA)
バッテリーパック (ニッケル水素単3形充電電池4本)

(2) 電撃に対する保護

保護の形式: 内部電源機器 (バッテリーパックでの点灯時)
クラスⅡ機器 (ACアダプタでの点灯時)
保護の程度: B形装着部

* ◇EMC:JIS T 0601-1-2:2018 適合

3. 寸法及び重量

	名称	寸法(mm)	重量
1	ライト部 (鏡筒部のみ)	φ 23×34.6	約18g(100型) 約19g(80型)
2	バッテリーパック	*88.5×68.0×22.0 (調光ツマミ含まず)	約170g

4. 品目仕様等

点灯時間

調光1=約13時間、調光2=約7.5時間、調光3=約3.5時間

視野径・照度

調光位置	ライト部種類	40cmの距離での照野径(mm)	40cmの距離での照度(Lx)
1	100型	約φ100	約12000
	80型	約φ80	約14000
2	100型	約φ100	約19000
	80型	約φ80	約22000
3	100型	約φ100	約32000
	80型	約φ80	約38000

電気的安全性

JIS T 0601-1:2017 適合

取扱説明書を必ずご参照下さい。

5. 原理

バッテリーパックの電源により白色 LED を発光させ、その光りをレンズを通して照射する。なおバッテリーパックと AC アダプタをつなぐことで直接コンセントから電源を供給して照射することも可能である。
レンズに集光レンズと投影レンズとを組み合わせることで、目的の観察部位に明暗の輪郭が明瞭である照野を実現する。

【使用目的又は効果】

本製品は医師等医療従事者の頭部に装着するように設計された装置（ランプ）である。手術、診断、治療等の際に使用するフレームまたはヘッドバンドなどに取り付けて手術部位、観察部位等を光源で照らし、明るくするための照明として使用する。

** 【使用方法等】

1. 使用前

- (1) バッテリーパックを取扱説明書に従い充電する。
- (2) ライト本体部ケーブルのプラグをバッテリーパックのライトジャックに挿入して接続する。

◇処置中に消灯が起きないように充電電池は事前に十分に充電しておくことを勧める。

2. 使用中

- (1) ライト本体の調光つまみを点灯の位置（１・２・３）に回すことでスイッチが入り点灯する。
- (2) 必要な部位を照らす。

3. 使用後

- (1) 調光つまみを消灯の位置に戻す。（電源が切れ消灯する）
- (2) ライト本体部ケーブルのプラグをバッテリーパックジャックから外す。
- (3) 必要があればライト本体部をフレームまたはヘッドバンド等から外す。

取扱説明書に従い 保管・メンテナンスを行う。

◇なおコンセント（交流電源）から電源を供給する場合は、ACアダプタとバッテリーパックを接続して使用する。

** 使用に際しては次のことを注意すること。

1. 使用前にライト本体の点灯を確認すること。
2. ヒトの眼を直接照射しないこと。また、ライト本体からの光を凝視しないこと。
3. 電池ケースの使用中に停電による消灯が起きないように事前に充電しておくことを勧める。

** 【保管方法及び有効期間等】

1. 本製品は精密医療機器であり、埃等の付着を防ぐために必ず専用ケースに入れて保管すること。
2. 直射日光下や湿度の高い場所では保管しないこと。
3. 公称使用温度 : 10℃～35℃
公称保管温度 : -20℃～60℃

取扱いの際は次のことを注意すること

1. 本製品は精密医療機器であり、取り扱いには充分注意を払うこと。
2. 火傷の原因となるため、点灯中または消灯直後のライト本体には触れないようにし、十分に冷えた後で触れること。
3. 故障の原因となるため、ケーブル類に荷重を掛けたり、引っ張ったり折り曲げたりしないこと。
4. 故障、怪我の原因となるため、各部のネジ類が緩んだ場合には締め直してから使用すること。
5. バッテリーを火中に投じないこと。

【保守・点検に係る事項】

1. 定期的を目視で点検し、レンズ部分はレンズクリーニングクロスで清掃すること。
2. 本体外装が汚れた場合には、乾拭きをするか薄めた中性洗剤を少しだけ染みこませた柔らかい布で拭き、そのあとに乾拭きのこと。

◇使用時保守時に関わらずレンズを指で直接触らないように注意すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 :

1. 株式会社キーラー・アンド・ワイナー
TEL : 03-3815-7787

2. 製造業者 :

株式会社 西澤電機計器製作所 本社工場

取扱説明書を必ずご参照下さい。